

宙に近い天文部

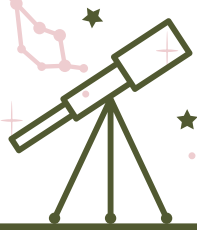
2025 Spring 天体イベントスケジュール

	日程	時間	天体の見どころ	展望台
①	3/2(日)	日没後	月と金星が接近	
②	3/5(水)	22:00 頃	すばる食	
③	3/6(木)～9(日)	日没後	月と火星・木星が接近	
④	3/8(土)	18:00 ～ 20:00 18:00 ～ 20:00	・「2025年春の星空と宇宙」のお話 ・星空観望会 (月・火星・木星・冬の星座・春の星座)	天体解説有！ 天体望遠鏡登場！
⑤	3/8(土)	日没後	水星を見つけるチャンス	
⑥	3/14(金)	18:30 ～ 19:30	・観月会	天体望遠鏡登場！
⑦	3/24(月)	未明	土星の環の消失	
⑧	4/2(水)～6(日)	日没後	月と火星・木星が接近	
⑨	4/5(土)	18:30 ～ 20:30 18:30 ～ 20:30	・「2025 年春の星空」のお話 ・星空観望会 (月・火星・木星・春の星座・沈みゆく冬の星座)	天体解説有！ 天体望遠鏡登場！
⑩	4/12(土)	18:30 ～ 19:30	・観月会	天体望遠鏡登場！
⑪	4/22(火)	未明	こと座流星群 極大	
⑫	4/27(日)	日没後	金星が最大光度	
⑬	4/30(水) ～5/4(日)	日没後	月と火星・木星が接近	
⑭	5/3(土・祝)	18:30 ～ 20:30 19:00 ～ 21:00	・「2025 年春の星空」のお話 ・星空観望会 (月・火星・木星・春の星座)	天体解説有！ 天体望遠鏡登場！
⑮	5/6(火・祝)	夜明け前	みずがめ座η流星群 極大	
⑯	5/7(水)	未明	土星の環の消失	
⑰	5/13(火)	20:00 ～ 21:00	・観月会	天体望遠鏡登場！

※天候や営業の状況により中止となる場合や、開催時間変更の場合がございます。



空中庭園
KUCHU TEIEN



宙に近い天文部

2025 Spring 天体イベントスケジュール

① 3/2(日) 月と金星が接近



■日の入り後、西の空で細い三日月と、マイナス 4.8 等で明るく輝く金星が接近！金星を望遠鏡で見ると、月と同じような三日月型をしています。これは、金星が地球と太陽の間に近づいて来ていて、太陽に照らされている金星と月が同じような形に光っているためです。月と金星が仲良く並ぶ光景は必見です。

② 3/5(水) すばる食



■西の夜空で、月がおうし座のすばる(プレアデス星団)を隠す「すばる食」が見られます。22 時頃から、月齢 5.5 の月の暗縁にすばるの星たちが隠されていく様子が楽しめます。

③ 3/6(木)～9(日) 月と火星・木星が接近



■夕空で、上弦前後の月が、冬のダイヤモンドを横切りながら明るい惑星たちのそばを通過します。6 日にはマイナス 2.3 等の木星と接近！8・9 日には、月がマイナス 0.1 等の火星と接近します。

④ 3/8(土) 空中庭園☆星空 CLUB

展望台から
見られる！

■「春の星空」のお話

今月のテーマは、「2025 年春の星空と宇宙の話題」。見ごろの春の星座や木星・水星などの旬な惑星など、まだまだ楽しめる冬の星座から春の星空の見どころと惑星の動き・天文現象などについてわかりやすくご紹介いたします。お話を聞いた後は、屋上に特設の天体望遠鏡で星空観測を楽しみましょう。

18:00 ～ 20:00 開催予定 (40F) 1 回約 20 分・定員 10 名の入れ替え制

■「星空観望会」 対象：月・火星・木星・冬の星座・春の星座など

穏やかな春風を浴びながら、特設の天体望遠鏡で春の星空を楽しみましょう。まだ残る冬の星座と春の星座や旬の惑星たちが輝くこの時期ならではの星空をお楽しみください。

18:00 ～ 20:00 開催予定 (屋上「ルミ・デッキ」) 定員 10 名の入れ替え制



⑤ 3/8(土) 水星を見つけるチャンス



■星空観望会が開催されるこの日、日没後すぐの西の空に明るく輝く金星を見つけることができます。そのすぐ左下に水星が輝いています。水星は太陽系の中で一番内側を回る惑星のため、金星と同様、日没後の西の空か日の出前の東の空にしか現れません。特に水星は、太陽から離れる角度が小さく、を見つけることが難しい惑星ですが、この日は金星を目印に見つけやすいチャンスです！ぜひチャレンジしてみてください。

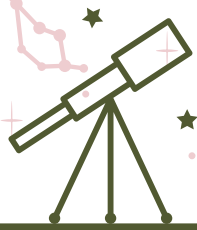
⑥ 3/14(金) 観月会 [大阪の月の出 18:07]



展望台から
見られる！

■今年 3 回目の満月を特設の天体望遠鏡で観察しましょう。この日、日本では月の出の時に、北海道と関東・東北の一部で部分食のほぼ終わりをみるのですが、残念ながら大阪では月食が終わった後の満月が昇ってきます。(半影月食は続いていますが見かけ上ほとんどわからない程度です。) そんな神秘的な満月の表面を覗いてみませんか。





宙に近い天文部

2025 Spring 天体イベントスケジュール

⑦ 3/24(月) 土星の環の消失



■今年の話題の一つ☆約16年ぶりに土星の環が消えて見える現象が起こります。地球から16億kmも離れている土星の環は、直径が27万kmありますが、厚さが数十mに満たないほどしかありません。土星は、その公転軌道面に対して自転軸を26.7度傾けた状態で太陽の周りを公転し、約30年で一周しています。この日、地球からは環を真横から見ることになるため、環は見えなくなってしまうのです。この現象は軌道の両端、つまり約15年毎に見られます。ただ、今年の消失は、土星が見かけ上太陽に近いため観察は難しいです。

⑧ 4/2(水)～6(日) 月と火星・木星が接近



■日没後の西から南西の空で、2～3日にかけて、冬のダイヤモンドの中を月が移動していきます。この間、月は三日月から半月に近い形に変化していき、火星と木星に接近します。そろそろ見ごろを終える冬のダイヤモンドに月が輝きを与えています。ぜひお楽しみください。

⑨ 4/5(土) 空中庭園☆星空 CLUB

展望台から
見られる!

■「春の星空」のお話

天文のスペシャリストによるお話。今月のテーマは「2025年春の星空」。夜空を彩る春の星座や沈みゆく冬の星座・惑星などの春の星空の天文現象や宇宙の話題についてわかりやすくご紹介いたします。お話を聞いた後は、屋上に特設の天体望遠鏡で星空観測を楽しみましょう。

18:30～20:30 開催予定(40F) 1回約20分・定員10名の入れ替え制

■「星空観望会」対象：月・火星・木星・春の星座・沈みゆく冬の星座など

春の星座や沈みゆく冬の星座などで美しく彩られた星空を特設の天体望遠鏡で楽しみましょう。月のすぐ近くに赤く輝いている火星の姿もお見逃しなく!

18:30～20:30 開催予定(屋上「ルミ・デッキ」) 定員10名の入れ替え制



⑩ 4/12(土) 観月会 [大阪の月の出 17:53]



展望台から
見られる!

■翌朝に満月となる美しく輝くまあるい月を特設の天体望遠鏡で観察しましょう。

⑪ 4/22(火) こと座流星群 極大

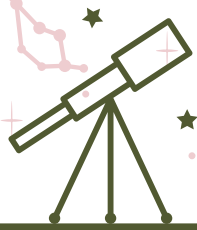


■深夜から23日未明に見ごろを迎え、月明かりの条件も比較的良好なので、空の暗いところでは1時間に10～15個の流星が期待出来そうです。明の東の空には、細い月と、宵の明星の金星が明るく輝きますが、そのすぐ下には環が少し復活した土星が輝きます。さらに、左下には水星が見やすい位置にきています。春の明の空の中に、月と水星・金星・土星、そして時折流れる流星を楽しみましょう☆

⑫ 4/27(日) 金星が最大光度



■明るく輝く三日月型の金星が、マイナス4.8等の眩しい光度となります。その下には、土星と水星を従えての登場です。



宙に近い天文部

2025 Spring 天体イベントスケジュール

13 4/30(水)～5/4(日) 月と火星・木星が接近



■先月、冬のダイヤモンドを通り抜けた月が、再び巡ってきました。30日～1日には、満ち欠けが一回りした三日月と木星が再び接近！3～4日にかけて先月に続き月と火星が接近します。地球や惑星が太陽の周りを公転し、月が地球の周りを公転していることが実感出来ます。木星もいよいよ今季の見納めの時期を迎えようとしています。

14 5/3(土・祝) 空中庭園☆星空 CLUB

展望台から
見られる！

■「春の星空」のお話

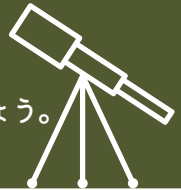
天文のスペシャリストによるお話。今月のテーマは「2025年春の星空」。見ごろの星座や惑星など、春の星空の見どころについてわかりやすくご紹介いたします。お話を楽しんだ後は、屋上に特設の天体望遠鏡で月や春の星座などを観測してみましょう。

18:30～20:30 開催予定(40F) 1回約20分・定員10名の入れ替え制

■「星空観望会」対象：月・火星・木星・春の星座など

夜空に輝く美しい月や春の星座など、賑やかな星空観測を特設の天体望遠鏡で楽しみましょう。

19:00～21:00 開催予定(屋上「ルミ・デッキ」) 定員10名の入れ替え制



15 5/6(火・祝) みずがめ座η流星群 極大



■ハレー彗星を母天体とし、5月上旬頃に活動する主要な流星群の一つ☆流星の元になる彗星の軌道と地球の軌道との関係で、高速で長経路の印象的な流星が見られます。6～7日の夜明け前が見ごろで、月明かりの影響なく好条件のため、1時間に5～10個程度の流れ星の観察が期待出来そうです。

16 5/7(水) 土星の環の消失



■今年2回目の環の消失。3月には地球から土星の環を真横から見ることで、環が見えなくなりましたが、今回は環の真横から太陽の光が当たるため、環の面が暗くなって見えなくなります。

17 5/13(火) 観月会 [大阪の月の出 19:40]



展望台から
見られる！

■今年5回目の満月を特設の天体望遠鏡で観察しましょう。この日の満月は、夏の星座「さそり座」の右爪の近くにあります。昇ってきた満月の左下には、さそりの心臓「アンタレス」が赤く輝いています。



※天候や営業の状況により中止となる場合や、開催時間変更の場合がございます。



空中庭園
KUCHU TEIEN